



原発の問題は社会構造の問題

Misao 島さんが原発の問題について気づいたのは、どういった経緯でしたか？

島 1980~90年代に「アトミック・カフェ」というイベントに出演して、そこでは「原発なんてダメに決まっているじゃん」でOKなんです。でも、その場限りで、そこを超えてまで自ら発信していくということは考えていなかったし、実際にそういうミュージシャンはすごく少なかったと思う。勉強することもなかったしね。

Misao では、原発の問題がもっと身近に迫ってきたのは、3.11の福島原発事故で、というわけですね。

島 うん、それまでは原発なんて単なる発電の方法としかみてなかったのが、いろいろ知っていくうちに、社会構造や経済構造そのものの問題だとわかってきた。地方分散型社会とは相容れない中央集権的社会、その仕組みそのもの。原発の問題は、どんな社会を選択するのかという問題なんですね。

40代で弁護士になる

Misao バンド活動中心の生活をする中で、弁護士になろうと一念発起したのは、何か大きなトリガーがあったのでしょうか？

掲げよう！ 脱原発の輪

NO NUKES! human chains vol.05

ゲスト **島昭宏** 島キクジロウ&NO NUKES RIGHTS / 原発メーカー訴訟弁護団・共同代表 聞き手: Misao Redwolf (首都圏反原発連合)

NO NUKES! human chains vol.vol.04のゲスト、ドリアン助川さんからのご紹介です。

No Nukes Rights ノー・ニュークス権 = 原子力の恐怖から免れて生きる権利

島 41歳の誕生日の朝目覚めて、布団の中で「ロックで世の中を変えよう」と、バンドを始めて25年かとか考えてて。25年は長いけれど、あと25年は楽勝でやれるな、まだ折り返しに来たか来てないかぐらいなんだなとハタと気づいちゃって。バンド生活は楽しいけど、それだけじゃ社会は全然ひっくり返らないじゃん(笑)、これでいいのかなと。

それから1週間ぐらい経って、司法試験の新しい制度に環境法という科目が入ったことを何かで読んで。法律なんてまったく興味もなかったんだけど、法律から、自分の中学生の時からテーマである環境問題にかかわるのは、面白いかもしれないと思ったんです。ロック弁護士、ロックンローヤーじゃん！とか、ね。それで1年後、42歳のときにロースクールに入りました。

Misao そして、2回目で司法試験に合格して弁護士として働きはじめた直後に、東日本大震災と福島原発事故が起こったんですね。そのために弁護士になったようにも思えますよね。

島 そうそう、もうこれをやるしかないなと、それはすごく感じた。選択肢はないなと。もう、やるしかないよね。

「原発メーカー訴訟」の2本柱「ノー・ニュークス権」と「財産権」

Misao 島さんは弁護士として「原発メーカー訴訟」に取り組まれています。

島 福島第一原発の原子炉製造メーカーに1人100円の損害賠償を求めた裁判で、世界中から約4000人の原告を集めました。電力会社だけが

事故の責任を全部負って、あとはすべて免責という「責任集中制度」を採用する原子力損害賠償法があるのでとても難しい裁判なんですけど、こんな法律は憲法が保障する人権を侵害しているから無効だということを主張しています。



ノー・ニュークス権と財産権の侵害による違憲無効が原発メーカー訴訟の2本柱です。

財産権侵害ともう一つ、新しい人権「ノー・ニュークス権」の侵害。史上最悪の原発事故を経験した今、我々には「原子力の恐怖から免れて生きる権利」が認められるべきだと主張し、これを「ノー・ニュークス権」と名付けました。「プライバシー権」や「人格権」同様、憲法に書いてなくても、時代の流れの中で憲法上の保障を必要とする利益は新しい人権として認められるわけです。

東電に対する請求権

Misao 原発メーカーの東芝は経営破綻しているし、日立もGEも原発事業は儲からないので腰がひけてきていますよね。

島 訴状は162ページあるんです。そのあとも、100ページを超える書面をどんどん出しているし、100ページを超える意見書を何通も出して、僕らなりの法理論を積み上げてきています。今年の2月に最高裁に上告して、つい先日にも補充書面を出しました。原発メーカーの経営破綻



NO NUKES! ENERGY AUTONOMY!



インタビュー全文はこちらでご覧いただけます
<http://coalitionagainstnukes.jp/?p=11680>

今回予告 NO NUKES! human chains vol.06 (2019年2月号掲載)
このインタビュー・シリーズでは、ゲストのかたに次のゲストをご紹介します。島昭宏さんからは、ミュージシャンの後藤正文さん (ASIAN KUNG-FU GENERATION) をご紹介いただきました。

についても、裁判所に継続的に提出していくつもりです。

そもそも原賠法の第1条に「被害者の救済と原子力事業の健全な発達を目的としてこの法律をつくる」と書いてあるんだけど、こんな矛盾した2つの目的を掲げていることが諸悪の根源なんだよね。責任集中制度によって原発メーカーを手厚く保護しても、実際、世界の情勢を見渡せば原子力事業はもう成立しないということが明らかになっているんだから、この法律の一方の目的はもはや消滅しているんだということを強く主張していきたいと思っています。

積み上げていけばどこかで大きな転換がくる

Misao 脱原発実現のために、全国でさまざまな活動に取り組んでる皆さんに、メッセージをお願いします。

島 『金曜官邸前抗議』については、僕も『見守り弁護団』の一員として、一番盛り上がっているときも、落ち着いたものになってきたときも見てきました。クソ暑い夏と凍える冬を何度も越えて、いろいろな人たちがいるいろいろなやり方で地道に活動を続け、どこかで局面が大きく変わる準備を少しずつしている段階だと思います。

それぞれの立場でやれることは限られているけど、その中で一個一個積み上げていけば、どこかで大きな転換期を迎えるということは間違いのないし、あとはそれがいつなのかということだけ。一人ひとりが成長してきたものを踏まえて、連携しながらやっていければいいと思うし、続けてやっている人たちに対しては、心からリスペクトしています。それは本心ですね。

Statement

首都圏反原発連合ステートメント 2018年自民党総裁選と第4次安倍改造内閣について

2018年9月7日告示、20日開票の自民党総裁選で、安倍晋三氏が三選されました。しかし、選挙中には安倍支持国会議員による、他の国会議員や地方議員への恫喝をも含む締め付けがあったと報道されています。もし、議員たちが自分のポストや保身のために、国民意識から大きく乖離した不誠実な安倍氏に投票したのであれば、公職者の資格はありません。

一方、対抗馬である石破茂氏は、国会議員の票数では及ばなかったものの、地方票では大変健闘したといえます。安倍支持派の国会議員からの圧力に屈することなく石破氏に投票した、元安倍支持派の地方議員もいました。どんなに圧力をかけられても地方が屈服しなかったのは、不幸中の幸いでした。また、先日の沖縄県知事選でも、沖縄の人々は自公の圧力を大きくはねのけました。

森友・加計問題についての十分な説明もなく安倍政権が続投することを、多くの国民は納得していません。また、第4次安倍改造内閣には、女性閣僚が一人しかおらず、「女性活躍推進」のスローガンと実態が伴いません。さらには、菅氏、麻生氏の2本柱が留任であることは、腐った柱で新しい建物を支えるようなもので、レームダック化の象徴ではありません。

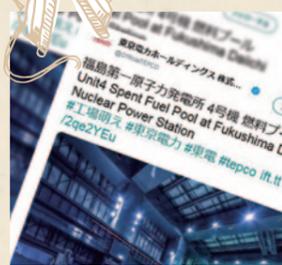
首都圏反原発連合では、安倍政権が2014年に『エネルギー基本計画』を原発推進計画に改悪したときから、政権交代なくして原発ゼロは実現しないと確信し、再エネ主流になりつつある世界と歩調を合わせ、抗議行動などを続けてきました。自公の圧力に屈しなかった沖縄県知事選挙の結果を励みに、原発ゼロの新政権誕生を目指し、できる限りの行動をしてゆく所存です。



2018年10月11日

首都圏反原発連合 - Metropolitan Coalition Against Nukes -

Walk and Talk it 福島第一原発「#工場萌え」が証明したもの — 映画『そして父になる』

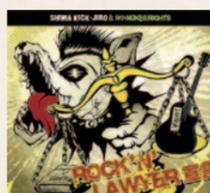


是枝裕和監督の映画『そして父になる』の冒頭でエリート建築家・良多の妻みどりが、夫のかつての部下・三浦のことを「仕事うまくいってるのかしら」と心配すると、良多は「何とかやってるだろう」とし、「辞めたやつことまで心配してられるかー」とも答える。これに対しみどりは「すいませんでしたね。辞めたやつで」という。みどりは「三浦を軽視することは仕事を辞め専業主婦になった自分を軽視することでもある」と伝えたいのだが、仕事の資料を見ながらしゃべる良多には伝わっていない。この短いシーンで良多の傲慢・鈍感が表されているのだが、この後さまざまなことが起こり良

多は「そして父に」、「人間的に」なっていく。
10月30日、東京電力が公式ツイッターに福島第一原発の建屋内部の画像を「#工場萌え」と投稿した件に関し、世耕経産相は「ユーモアを見せるのは悪くない」と述べた。世耕氏が原発事故により最大約16万人の人々が故郷を離れざるを得なくさせた東電に対し「ユーモア」と述べたことは、氏が人々ではなく東電の方を向いていること、その傲慢・鈍感の証明になっている。「そして父になる」は良多が「感情」を取り戻していく「成長」物語でもあるのだが、世耕氏たち、大臣たちの成長を待つ寛容さなど、私たちには全く必要ないのだ。(TH)

『ROCK'N'LAWYER 宣言』

島キクジロウ&NO NUKES RIGHTS (定価2800円+税)



1985年から活動するパンクバンドthe JUMPSのボーカリストであり、3.11以降はロック弁護士として新しい人権「ノー・ニュークス権」を提唱する島キクジロウが、甲本ヒロト(ザ・クロマニオンズ)、マグミ(レビッシュ)、宙也(アレルギー/De+LAX)、三宅洋平ら多くの仲間たちの協力を得て完成させたアコースティック・パンク・アルバム。

<http://jumps.kill.jp/discography.html>

編集後記

政府が海洋放出を急ぐ、福島第一原発のトリチウム汚染水の8割超が基準値を超えていることが露呈。東電はどこまで杜撰なのか...。安倍首相のオリンピック誘致に向けての「アンダーコントロール」発言は完全に間違っています。

今年も終盤、原発は再稼働されてはいますが、原発の発電量は全電力の2%程度にとどまっています。来年の統一地方選、参院選で脱原発野党議員を増やし、原発推進安倍政権を打倒し原発ゼロを実現しましょう！再稼働反対！皆様、良いお年を。